

第6回

統合産婦人科学研究合同シンポジウム

「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」共催

日時：平成27年3月3日(火) 18:00～

場所：3号館8階 産婦人科医局

<第1部>

演題1 東北大学 産婦人科 重田 昌吾先生

「 トランスフェリン/トランスフェリン受容体を介した卵管上皮におけるDNA二重鎖切断の検討 」

演題2 東北大学 産婦人科 辻 圭太先生

「 子宮内膜癌に対するレチノイン酸の作用の検討 」

<第2部> 特別講演(18:40-19:30)

金沢大学 産婦人科 教授 藤原 浩先生

「 婦人科腫瘍学と生殖医学の接点
— 胚着床に対応する生殖臓器の機能再建を目指して — 」

骨盤腔および生殖臓器には妊娠成立に重要な場が存在する。妊孕能温存手術に際しては、受精や胚着床に対応する生殖臓器の機能変化とその制御機構を十分に理解した上でアプローチ法を選択することが肝要である。